



# 水道事業会計

令和3年度決算の概要について

# 収益的収支（3条予算） 【税抜き】

- ▶ 当該年度の企業の経営活動に伴い発生するすべての収益とそれに対応するすべての費用を計上します。

（単位：円）

	R3 決算額	R2 決算額	増減	R3 予算に対する執行率
<b>水道事業収益</b>	<b>6,385,426,133</b>	<b>6,244,764,233</b>	<b>140,661,900</b>	<b>98.1%</b>
営業収益	5,921,697,318	5,797,274,019	124,423,299	97.4%
営業外収益	452,563,669	446,660,336	5,903,333	106.9%
特別利益	11,165,146	829,878	10,335,268	73,566.5%

	R3 決算額	R2 決算額	増減	R3 予算に対する執行率
<b>水道事業費用</b>	<b>5,872,672,324</b>	<b>5,815,215,144</b>	<b>57,457,180</b>	<b>96.9%</b>
営業費用	5,744,541,732	5,672,102,535	72,439,197	97.0%
営業外費用	126,716,148	141,613,209	△14,897,061	96.8%
特別損失	1,414,444	1,499,400	△84,956	28.5%
<b>純利益</b>	<b>512,753,809</b>	<b>429,549,089</b>	<b>83,204,720</b>	—

# 収益的収支のポイント①

## ■ 水道事業収益

事業収入の総額：63億8,542万6,133円（前年度比1億4,066万1,900円の増）

◎主な収入：給水収益 52億8,513万9,455円（1億2,017万3,282円増）

◎主な増減要因：給水収益の増加

⇒令和2年度は6月、7月調定分の基本料金1億3,001万6,120円を免除したことによる減収があったため。

## ■ 水道事業費用

事業費用の総額：58億7,267万2,324円（前年度比5,745万7,180円の増）

◎主な費用：原水及び浄水費 27億5,275万2,839円（4,758万2,405円減）

◎主な増減要因：配水及び給水費並びに総係費の増加

⇒【配給】委託料が増加したため（5,652万5,022円増）。  
漏水修繕等対応業務委託などが増加。

⇒【総係】退職給付費が増加したため（7,643万4,597円増）。  
退職手当が増加。

## 収益的収支のポイント②

### ■ 収益的収支

純利益：5億1,275万3,809円（前年度比8,320万4,720円の増）

⇒ 主な要因は、令和2年度に実施した基本料金免除の影響で令和3年度の収入が前年度より増加したこと。

### ■ 1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価と給水原価の比較

供給単価－給水原価：140.44円－144.11円＝3.67円の差損

供給単価：有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの水道料金

給水原価：有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりにかかった費用

差損が出ている

⇒ 水道水を提供するための費用を水道料金でまかなえていない

# 資本的収支（4条予算） 【税込み】

- ▶ 市民に対するサービスの提供を維持するための諸施設の整備、更新など建設改良のための支出とその財源となる収入を計上します。

(単位：円)

	R3決算額	R2決算額	増減	R3予算に対する執行率
<b>資本的収入</b>	<b>884,511,300</b>	<b>938,594,000</b>	<b>△54,082,700</b>	<b>98.1%</b>
企業債	700,000,000	700,000,000	0	100.0%
他会計負担金	35,441,000	35,741,000	△300,000	99.1%
工事負担金	63,146,000	115,524,000	△52,378,000	85.9%
水道施設加入金	85,704,300	87,289,400	△1,585,100	92.7%
固定資産売却代金	0	39,600	△39,600	—
他会計補助金	220,000	0	220,000	100.0%
	R3決算額	R2決算額	増減	R3予算に対する執行率
<b>資本的支出</b>	<b>3,004,844,644</b>	<b>2,678,384,104</b>	<b>326,460,540</b>	<b>89.8%</b>
建設改良費	2,302,896,018	2,019,687,529	283,208,489	87.3%
企業債償還金	701,948,626	658,696,575	43,252,051	100.00%
<b>資本的収支の不足額</b>	<b>2,120,333,344</b>	<b>1,739,790,104</b>	<b>380,543,240</b>	<b>—</b>

# 資本的収支のポイント①

## ■ 資本的収支

資本的収入：8億8,451万1,300円（前年度比5,408万2,700円の減）

⇒対象工事の減少に伴う、工事負担金の減少など。

主な収入：企業債 7億円（増減なし）

資本的支出：30億484万4,644円（前年度比3億2,646万540円の増）

⇒重要施設配水管及び老朽管を更新する配水管更新事業の増加など。

主な支出：配水管改良費 20億1,629万7,411円（3億3,309万2,415円増）

資本的収支の不足額：21億2,033万3,344円（前年度比3億8,054万3,240円増）

※不足額の補填財源

・消費税資本的収支調整額

⇒4条収支における消費税の差額：1億8,015万1,964円

・損益勘定留保資金

⇒減価償却費など現金支出を伴わない3条費用等：15億4,018万1,380円

・減債積立金

⇒企業債償還に充てるため過去の利益を積み立てたもの：2億円

・建設改良積立金

⇒建設改良（工事など）に充てるため過去の利益を積み立てたもの：2億円

## 資本的収支のポイント②

### ■ 工事の状況

布設工事：896m（配水管改良その他工事 等）

改良工事：16,701m（重要施設配水管耐震化その他工事（大字砂新田ほか） 等）

原水浄水施設維持及び改良事業（新宿浄水場着水井及びポンプ井修繕工事 等）

- 予算では、布設工事を2,455m、改良工事を19,615m施工予定  
⇒ 予定していた事業はおおむね実施することができた。

### ■ 管路更新率（当該年度に更新した管路延長の割合）

1.40%（目標更新率は1.25%）

# 収益的収支と資本的収支の関係 (3条予算と4条予算)

## 3条予算



## 内部留保資金

損益勘定留保資金、消費税資本的  
収支調整額

減債積立金、建設  
改良積立金、未処分  
利益剰余金

## 4条予算

## 資本的収入

企業債、補助  
金、負担金な  
ど

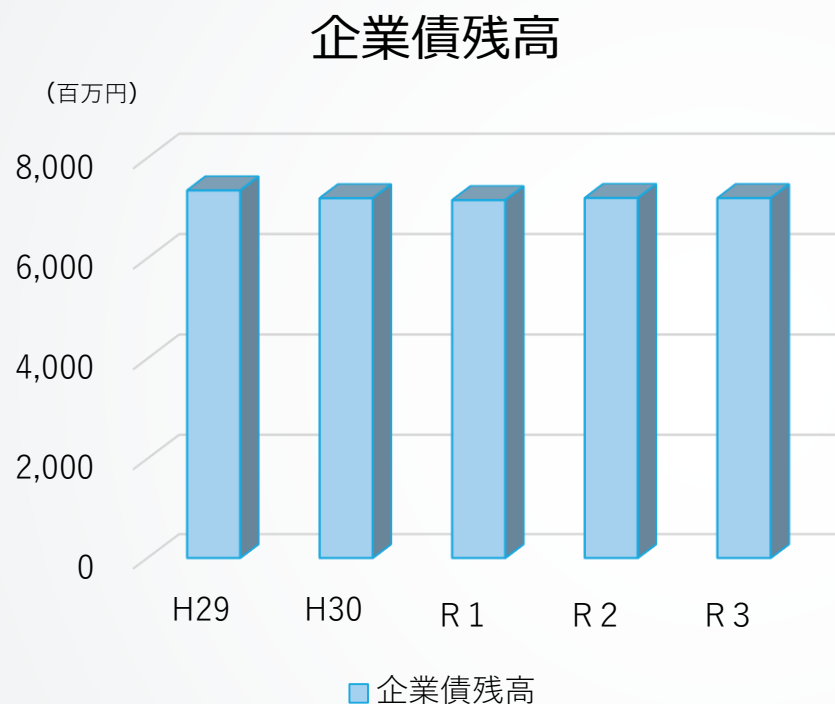
内部留保資金  
による補填

## 資本的支出

工事請負費、  
企業債元金の  
償還など

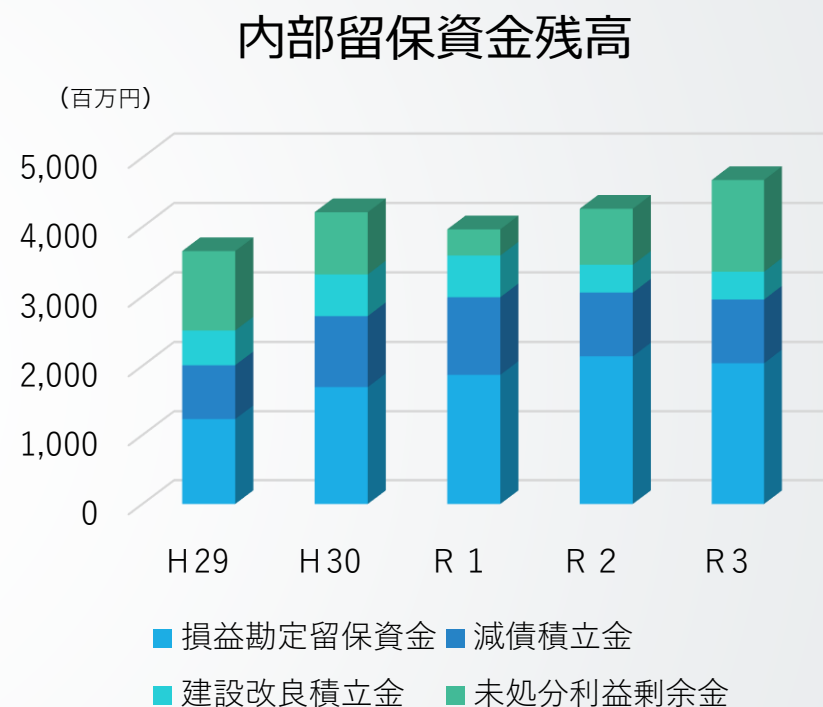


# 企業債残高と内部留保資金残高の推移



## ▶ 企業債残高（建設改良のための借金）

71億5千万円～73億5千万円の間で推移しています。



## ▶ 内部留保資金残高（建設改良のための資金）

増加傾向にあり、H29からR3の5年間で約10億円増加しています。

# 令和3年度決算のまとめ

## ■ 収益的収支

- ・ 令和2年度は基本料金免除を実施したが、令和3年度は実施しなかったため、結果として純利益が増加した。
- ・ 水道水の供給費用を水道料金でまかなえていない（供給単価と給水原価で差損）。
- ・ 将来的には人口減少による給水収益の減少が見込まれる。
- ・ 今後は、将来を見据えた適正な料金水準等について検討していく。

## ■ 資本的収支

- ・ 工事など建設改良の増加により、資本的支出が増加しつつある一方、企業債残高は大きく増減していない。
- ・ 今後も、基幹管路の耐震化や老朽管更新などに伴い多くの資金が必要となる。